

令和6年度 第1回焼津市図書館協議会会議録

1 開催日時 令和6年6月27日(木) 午後2時26分～午後3時15分

2 開催場所 焼津市立焼津図書館研修室

3 公開可否 可

4 傍聴者 なし

5 出席者 (委員)

秋山めぐみ 委員

岩田祐子 委員

岡本康夫 委員

桑原光子 委員

鈴木美紀 委員

内藤亜記子 委員

橋本 登 委員

増井 悟 委員

(事務局)

平田 図書課長

山梨 大井川図書館担当主幹

山本 焼津図書館担当係長

永井 焼津図書館担当主任主事

欠席者 (委員)

伊久美奈保子委員

6 次 第

(1) 開会

(2) 委嘱状の交付(該当者のみ)

(3) 教育長あいさつ

(4) 図書館協議会委員自己紹介

(5) 図書館職員自己紹介

(6) 議事

①令和5年度図書館利用状況及び図書館事業実績について

②令和6年度図書館事業計画について

(7) 閉会

7 内 容 (要約)

(1)開会

事務局:(開会のあいさつ)

(2)委員に対し委嘱状を交付

(3)会長あいさつ

(4)図書館協議会委員自己紹介

図書館協議会委員：(岡本委員より順に自己紹介)

(5) 図書館職員自己紹介

図書館職員：図書課長より順番に自己紹介

(令和6年度焼津市立図書館組織等について説明)

(6) 議事

それでは、ここから議事に入らせていただきます。只今出席されている委員は、9名中8名で委員の過半数に達しており、焼津市図書館条例施行規則(第14条第2項)の規定により、本会議は成立しております。会議の終了時間は、概ね15時30分を目安とさせていただきます。なお、委員の皆様のご発言につきましては、会議録として焼津市のホームページに掲載されますことを、ご了解いただきますようお願い致します。それでは、会長が会議の議長となりますので、ここからの進行は岡本会長にお願いします。

① 令和5年度図書館利用状況及び図書館事業報告について

議長：それでは議事にはいります。次第6の(1)「令和5年度 図書館利用状況及び図書館事業報告について」、事務局の説明を求めます。

事務局：それでは、令和5年度の焼津図書館・公民館図書室の利用状況について報告いたします。

お手元の資料2ページをご覧ください。初めに、(1) 新型コロナウイルス感染症の影響についてですが、令和5年度では、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類相当」から「5類相当」に移行したことにより、少しずつコロナ禍前の日常生活に戻りつつありますが、引き続き感染予防対策を継続した上で開館いたしました。次に、(2) 図書館ホームページアクセス件数についてですが、令和5年4月から令和6年3月末までの期間で、109,231件となっております。なお、令和5年7月17日から9月5日までの期間は、ホームページ停止によりアクセス件数がカウントされませんでした。ご了承ください。次に、(3) 図書館の利用状況 をご覧ください。全館合計の個人登録者数は、60,304人です。焼津図書館 の利用状況については①の表をご覧ください。開館日数は293日、貸出者数は104,452人、貸出点数は391,541点、来館者数は143,346人です。前年度比につきましては右端の「比較」の列をご覧ください。貸出者数、貸出点数、来館者数ともに、やや減少となりました。引き続き、講座・イベント開催をとおして、図書館への来館のきっかけづくりをしたり、出前講座を実施し来館を促したりして、利用拡大に努めてまいります。

次に、資料3ページをご覧ください。(4) 公民館図書室 の利用状況についてです。

なお、公民館は令和6年度から名称が「地域交流センター」に変更となっております。5年度の貸出者数は12,233人、貸出点数は31,750点です。前年度と比較しますと、貸出者数、貸出点数ともに、やや増加しました。図書館では引き続き、地域交流センター図書室での返却や予約の本が受取れることなどをご案内し、居住地に近い地域交流センター図書室の利用について、利用者にPRしてまいります。次に、自動貸出機の利用状況について、(5) をご覧ください。令和3年11月に導入した自動貸出機について、親しみを感じてもらえるように愛称を「かりるん」と名付け、子どもから大人まで利用を推奨しています。昨年度の「かりるん」での貸出状況は、焼津図書館では35%、大井川図書館では50%の方にご利用いただきました。今後もより多くの方に利用していただくよう、貸出カウンターでの声掛けや使用方法のご案内を継続していきます。焼津図書館・公民館図書室の利用状況については以上です。

続きまして、令和5年度の大井川図書館分の利用状況について報告いたします。資料は2ページとなります。着座にて説明させていただきます。(3) 図書館の利用状況、②の大井川図書館の表をご覧ください。開館日数は 291日、貸出者数は 3万7,859人、貸出点数は 15万5,830点、来館者数は 5万5,788人でした。前年度比につきましては、右端の「比較」の列をご覧ください。焼津図書館と同様に、貸出者数、貸出点数、来館者数ともに、減少となっています。今後は、図書館への足が遠のいた市民の皆さまに、再び足を運んでいただけるような図書館資料の選書や、興味を持っていただけるような講座・イベントなどの開催、また、将来の利用者となる、幼児への読書普及活動を行い、利用拡大に努めてまいります。以上でございます。

次に、令和5年度の事業について報告いたします。資料4ページの4をご覧ください。初めに焼津図書館から報告いたします。焼津図書館では、子ども向けの講座・事業を 22件企画・実施しました。10番「おはなしフェスタ」では、「こどもの読書週間」に合わせ、エプロンシアターやパネルシアターなど、普段より少し特別なおはなし会を実施しました。12番の「文化センターGW企画」の一部として広くチラシを配布したり、おはなしフェスタの開始前に図書館にやいちゃんが登場したりしておはなしフェスタのPRをしたことで、たくさんの方に参加していただくことができました。

次に、資料の5ページをご覧ください。14番「世界の絵本に触れてみよう！」は常葉大学と共催で外国につながりを持つ子どもなどを対象に、多言語による絵本の読み聞かせを実施しました。また、21番「鈴木まもるさんの絵本の読み聞かせ」では、ターントクル子ども館と連携し、同時期に各館で静岡県在住の絵本作家・鈴木まもるさんに関するイベントを実施しました。図書館以外の機関と連携したイベントも行うことで、色々な方に図書館に来てもらうきっかけづくりに努めました。

次に、23番以降の、大人向けの講座・事業についてです。大人向けの講座・事業は13件企画・実施しました。資料の6ページをご覧ください。新規事業の図書館講座として、25番「俳句入門・俳句をたのしもう」、26番の「レジンで簡単ネックレス作り」、27番「新聞を使って『脳』を活性化!」、31番「悪徳商法撃退講座」、33番「光源氏の生涯～源氏物語の魅力～」、34番「ミニ畳を作ろう!～畳の文化と歴史～」を開催しました。その中でも特に、33番の「光源氏の生涯～源氏物語の魅力～」の講座は、NHKの大河ドラマの放送に併せてテーマや時期を設定し、多くの方にご参加いただきました。その他にも文学以外の内容の講座も積極的に開催し、どの講座でも、関連図書を併せて紹介することで、図書館資料の利用に繋がりました。焼津図書館については以上です。

大井川図書館分について報告します。お手元の資料7ページ(2)大井川図書館をご覧ください。大井川図書館では、子ども向け事業を15件、大人向けの事業を5件、その他の事業を3件、計23件の事業を実施いたしました。主な事業のみ説明いたします。まず、2番、3番の「おはなしのへや」についてです。乳幼児向け、幼児・児童向けに、ボランティアの皆さんと図書館職員で実施しました。また、5-1、5-2の「おおいがわおはなしフェスタ」は、春の「こどもの読書週間」に合わせ、読み聞かせと簡単な工作、お楽しみ袋の貸出を行いました。工作は、焼津市のキャラクターである、やいちゃんを折り紙で作成しました。折り紙にはあらかじめ、子どもが簡単に作れるよう、折り方のガイド線を入れ、最後に目や口を置き入れ、自分だけのオリジナルやいちゃんを持ち帰っていただきました。続いて6番の「おはなしのへや小学校読み聞かせ会」ですが、これは大井川地区の小学校2校に出向いて、読み聞かせボランティアと共に、全てのクラスに入り、授業の時間を使って読み聞かせを行いました。次のページ、8ページをご覧ください。16番「図書館講座 家康公が深くかかわった焼津・大井川」は、昨年度は家康公が主人公としてドラマで取り上げら、県内でも大いに話題となりました。

皆さんの関心も高く、焼津・大井川地区に残る、家康に関する伝承を学んでいただきました。講師の巧みな話術もあり、アンケートでは再度の開催を望む感想が多数ありました。19番「赤ちゃん連れでも楽しめる！ヨガ講座」は乳児の保護者に、図書館内の展示室で赤ちゃんを連れてヨガを体験していただき、リフレッシュしていただく共に、今後の利用に結びつくよう、関連する書籍を紹介しました。大井川図書館の令和5年度の事業報告については以上です。

続きまして、9ページをご覧ください。両館共通の事業実績について、主なものを報告いたします。まず、9番「アシストサービス」についてです。このサービスは、視覚に障害がある図書館利用者に貸出を希望する録音図書のデータを提供することと、身体が不自由な方を対象に図書館資料を無料で郵送しているもので、図書館に来られない方、文字の本を読むことが困難な方にも資料を提供するというサービスです。当市は平成29年9月より全国的な視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」に加盟しており、録音図書のデータはサピエ図書館に所蔵されたデータベースからダウンロードし、提供しております。令和5年度は696点の資料を提供いたしました。

次は、10、11、12番の読書手帳についてです。読書手帳「やいっちょ」は、手帳1冊につき100冊分の読書を記録できるもので、1冊達成すると「焼津市読書マスター」に認定しております。また、令和5年度中に読書手帳10冊を達成した児童5人を「スーパー読書マスター」に認定し、2月10日に認定証授与式を開催しました。以上でございます。

議長：事務局の説明は終わりました。何か質問等ございましたらお願いします。みなさん特に意見が無いようでしたら、次に進ませていただきます。

②令和6年度事業計画について

議長：次に、次第6の(2)、令和6年度の図書館事業計画について事務局の説明を求めます。

事務局：令和6年度事業計画について報告いたします。資料11ページをご覧ください。初めに焼津図書館についてですが、令和5年度に実施した事業の継続が主となります。子ども向けの事業では、夏休みの期間に9番「こわ〜いおはなし会」や、10番「サイエンス講座」、11番「科学絵本講座」、12番「こども図書館員講座」の実施を予定しており、それぞれの講座では関連する本の紹介をして、学校が休みの期間でも児童が本と出合える機会をつくっていききたいと思います。次に、資料13ページをご覧ください。大人向けの講座についてですが、19番の「本の装備・修理講座」を一般の利用者向けに5/17に開催しました。また、市内の小学校図書館向けに、図書館司書やボランティアの方を対象とした「本の装備・修理講座」を、7月に開催する予定でいます。22番の「ブックリサイクル」については、昨年度は事前申込制で開催しましたが、今年度は当日整理券を配布する形へと変更し、今週末の29日(土)、30日(日)の2日間で開催します。その他の講座についても、参加者の興味関心の高そうな、時機にあったテーマを幅広い分野から選択し、今後実施していきたいと考えております。焼津図書館については以上です。

引き続き、大井川図書館分について御説明いたします。資料13ページをご覧ください。焼津図書館と同様に、令和5年度に実施した事業の継続が主となります。昨日6月26日ですが、6番「おはなしのへや 小学校読み聞かせ会」として、大井川南小学校に出向き、全学年2クラスずつの12学級と、特別支援学級の低学年・高学年を併せて14学級において、2時間目又は3時間目の授業時間に読み聞かせをさせていただきました。そのほか、子ども向けの事業として、夏休みの期間に8番「科学講座」、9番「おはなしのへや夏のスペシャル版」、10番「こども図書館員講座」、また、表には記載しており

ませんが、新たに「環境講座 パッカー車を見学しよう」、「体験講座 子ども煎茶教室」などを予定しており、あまり図書館を利用しないお子さんにも、夏休み期間に利用していただきたいと考えております。広報やいづでのお知らせのほか、本日配布させていただいております募集チラシを大井川地区の小学校の全児童に配布を行っています。

大人向けの講座は、14番の「文学講座」、15番「図書館講座」として記載しておりますが、現在、企画や講師の選定を進めておまして、昨年度より多くの講座、新たな内容を盛り込んで実施する予定です。16番の図書館カプセルは、令和5年度から、大人も子どもも参加できるようにしておまして、子どもと共に、親御さんや祖父母の皆さまにも楽しんでいただき、各家庭で「図書館で楽しいことやっているよ」というような会話と共に多くのお子さんに、夏休み期間にたくさん本を借りていただけるのではないかと考えております。17番の「ブックリサイクル」については、図書館内では8月と3月の2回の実施を予定しています。また、新たな試みとして、6月12日から昨日26日まで、大井川地域交流センターとの共同開催として、交流センターロビーでのブックリサイクルを実施し、多くの資料をお持ち帰りいただいています。大井川図書館については以上です。

次に、両館共通の事業についてご説明いたします。14ページをご覧ください。

7番の焼津市子ども読書活動推進計画（第3次）事業についてです。第二次計画での成果と課題を踏まえ、より一層、子どもたちが読書週間を身に付けたり、自ら進んで読書に浸ったりすることができるよう、策定いたしました。令和6年度から令和15年度までの10年間とし、計画の進捗状況を踏まえ、必要に応じて見直しを図ることとし、これに沿って進めてまいります。策定にあたりまして、貴重なご意見、ご提言をいただきました関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。14番の「焼津市行政各部署と連携した事業PR及び関連資料の特集展示・貸出」についてです。大きな企画として、静岡県男女共同参画センターあざれあ図書室様及び焼津市協働推進課と連携し、8月は焼津図書館、9月は大井川図書館において、「おしえて！LGBTパネル展」としまして、性の多様性についての理解促進を目的に、分かりやすく説明する解説パネルの展示や関連図書の紹介などを予定しております。このほか年間を通して、行政各部署と連携した企画展示を開催し、市民の皆さまへの情報提供を実施するとともに、関連資料を紹介するなど、行政支援サービスを通して、図書館の存在価値を高めていきたいと考えております。その他の事業については記載のとおりとなります。以上でございます。

議長：事務局の報告が終わりました。みなさんの方から何か意見やご要望、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。

では、私から質問ですが、電子図書館の県内の様子はどうなっていますか。

事務局：県立が1つ、その他で9市町で導入済みとなっています。県内35市町中の9市町ですので、まだ始まったばかりであると考えます。年度ごとの推移を見ながら導入のタイミングを見計らっていこうと考えています。

議長：市民からの要望はありますか。

事務局：今のところはありません。導入に当たっては整備も含め、高価であることから更に検討が必要と考えます。

議長：公立図書館向けの電子書籍を取り扱っている業者はあるのですか。

事務局：TRCやトーハンなどで取扱いがあります。

議長：需要はあるのでしょうか。

事務局：国が進めるDX化の推進があるため、今後も需要としては伸びていくと推測します。

橋本委員：新聞に載った記事ですが、梅雨の時期や台風、天候不良などが続いています。一昨年には静岡の南部図書館で浸水をして、地下書庫に所蔵していた、2万冊がだめになったとありました。焼津市立図書館では地下書庫はあるのでしょうか、また災害に対する取組を図書館では行っているのでしょうか。また、どういう対策を取られているのかをお伺いしたいです。

事務局：焼津図書館には地下書庫はございません。1階と2階に書庫があります。また、多少嵩上げしてありますので、静岡の図書館のように沈むことはないと思われま。また、大井川の図書館も平屋建てで、地下はありません。もともと、地盤は河原の石で、掘ると水が出てきてしまうので、地下は造っていません。また、少し高く造っていますので雨で沈むことはないと思います。雨以外で、数年前に大きな地震、震度5くらいのものであった時に、本が書架から落ちました。3段目から上の本がほぼ全て落ちました。ですので揺れに対する耐震について今後考えていかなければと思います。幸いその時の地震は早朝に起こったものでしたので、利用者の方に被害は及びませんでした。現在の対策としましては、一番上の書架に本を入れない、大型の本は上に置かないなどの対策を行っています。

議長：その他、何かありますか。また、全体をとおして、皆さんからご意見がありますか。無いようでしたら、以上で議事を終了し進行を事務局に戻します。

(7)閉会

事務局：岡本会長、ありがとうございました。今後の予定ですが、今年度第2回の図書館協議会につきましては、年度末に開催を予定しております。今後あらためて担当からご連絡させていただきます。以上をもちまして、令和6年度 第1回焼津市図書館協議会を終了とさせていただきます。本日はご出席をいただき、誠にありがとうございました。